

清瀬市教育委員会 殿

学校名 清瀬市立清瀬第三中学校
校長名 井 上 隆

令和 7 年 度 教 育 課 程

標記の件について、清瀬市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおり届け出ます。

記

1 教育目標

（1）教育目標

人間尊重の精神を基盤とし希望に満ちた社会をめざす健康で明るく知性ある人間を育成する。

- 1 思いやりのある生徒 【（深く）考える力「思考力」】
- 2 主体的に学び行動する生徒 【（考えたことを）行動に移す力「行動力」】
- 3 協力する生徒 【人間関係をつくる力「人間（じんかん）力」】

の3つの力を育成する。

（2）教育目標を達成するための基本方針

「一人一人が輝く三中」のスローガンの下、全教育活動の基盤となる「あ（挨拶）・じ（時間）・み（身だしなみ）・こ（言葉遣い）・し（姿勢）」を学校生活の心得とし、安全に安心して安定した学校づくりのために教職員が一丸となり、地域との協働を進めながら、将来の変化を予測することが困難な社会を切り拓き、自らの生涯を生き抜く力を育成する教育活動を実践する。

ア 思いやりのある生徒を育てるために、道徳科を要とし、各教科を通して、考え、議論する力を養うとともに、体験活動を充実させ、奉仕の心と規範意識を育成する。また、人権教育を意識した教育活動を展開し、自尊感情や自己有用感を高めさせ、自他の命の大切さを認める態度を育むことを通して、豊かな心を育成する。

イ 主体的に学び行動する生徒を育てるために、生徒の学びの目的、手段、過程に着目し、主体的・対話的で深い学びを重視しながら、基礎的・基本的な知識及び技能を基盤として、これからの時代に柔軟に対応できる「思考力・判断力・表現力等」及び実践力と、これからの時代に必要な資質・能力を育成する。

ウ 協力する生徒を育てるために、学校行事や生徒会活動等の特別活動を軸に、生徒の主体的な活動を推進するとともに、地域との協働を進め、多様な人々とのつながりを意識しながら、よりよい生活や人間関係を築こうとする態度を育てる教育活動を展開する。

エ 生徒一人一人を輝かせるために、体力テスト等を活用して、生徒一人一人に明確な目標を設定させ、自身の体力向上の取組を更に推進する。また、食育の充実を更に推進する。

オ 特別支援教育の充実を図るために、小中連携により9年間の学びの連続を計画的に進めていく。また、通常の学級と特別支援教室の連携を強化し、さらに通常の学級と特別支援学級との交流及び共同学習を積極的に推進することで、教育的なニーズに沿った指導及び相互の人格と個性を尊重し合う共生社会の実現向け、インクルーシブ教育を推進していく。